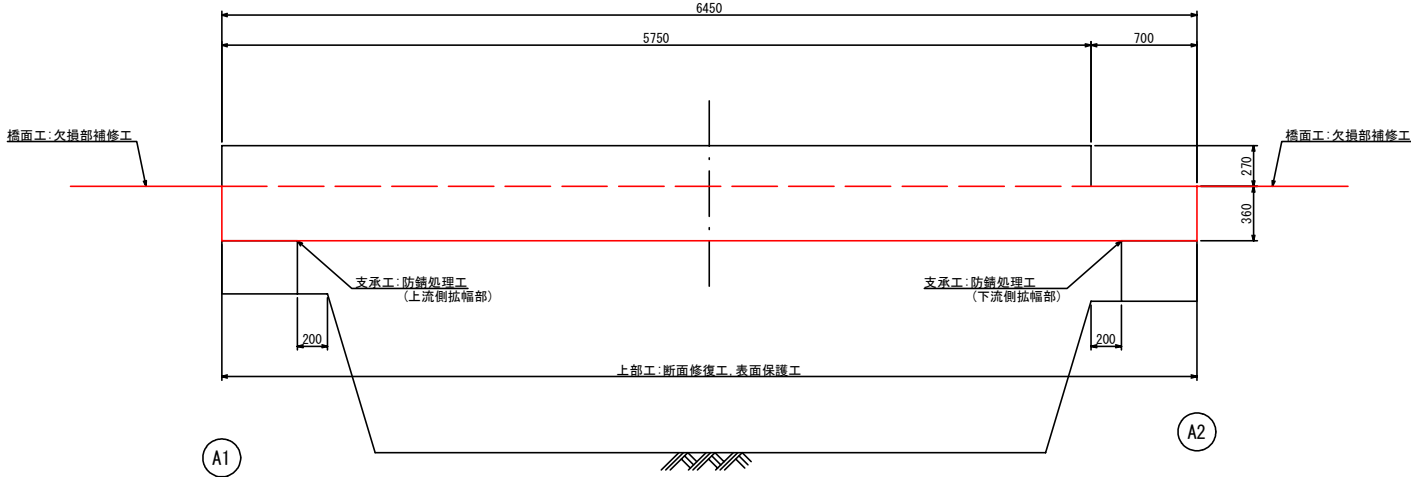


図面番号	1 / 5	縮 尺	図 示
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事		
種 別	補修計画一般図	番 号	1 / 1
路 線 名	市道久佐4号線		
工事箇所	府中市久佐町		
広島県府中市			

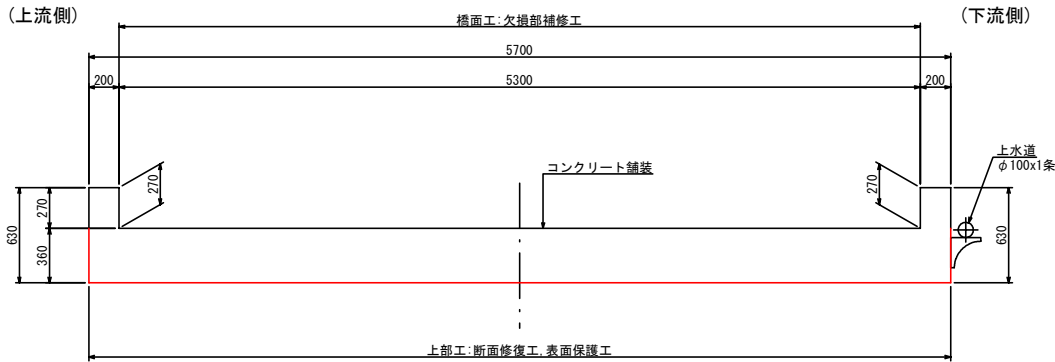
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

補修計画一般図

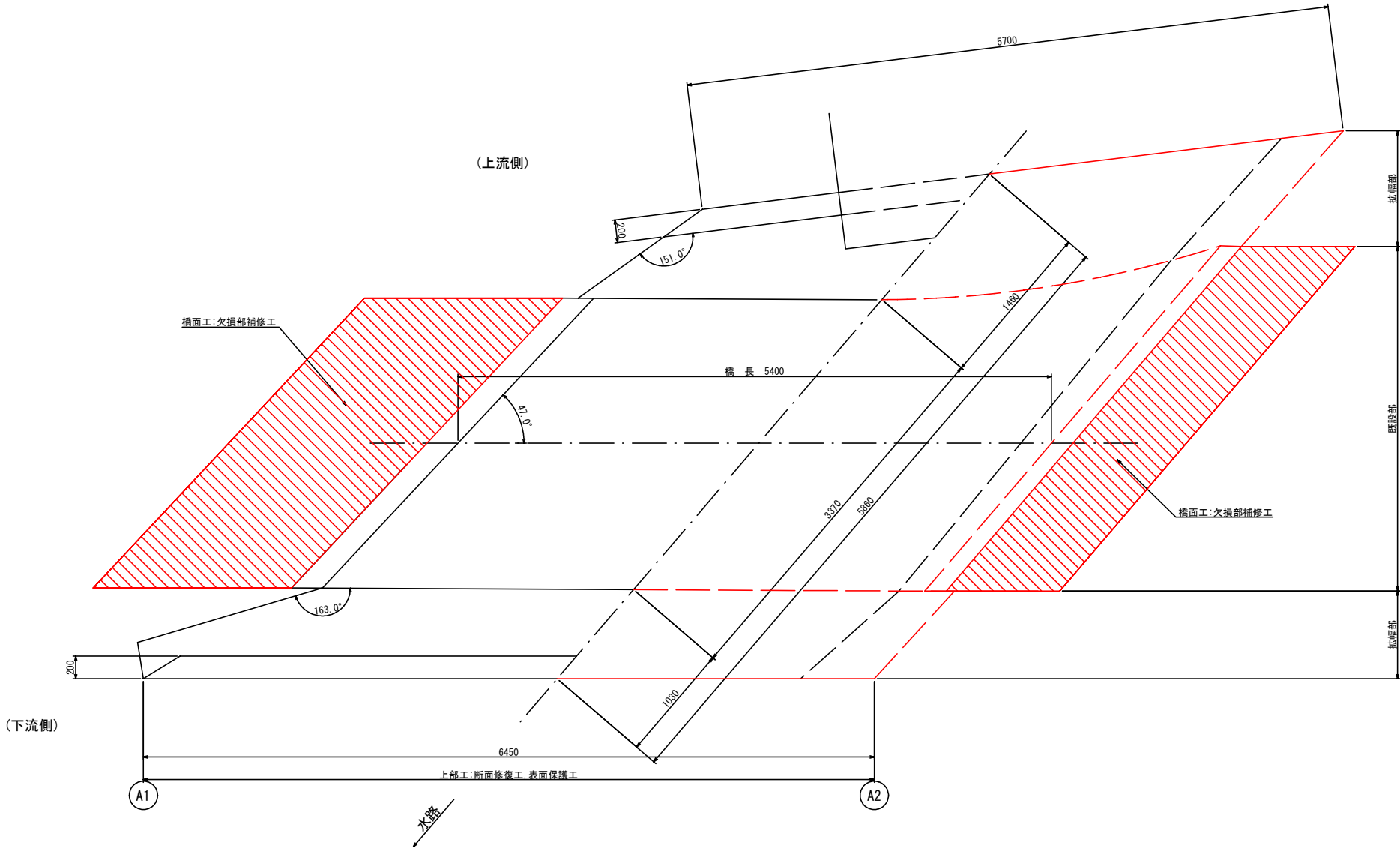
側面図 S=1:25



断面図 S=1:25



平面図 S=1:25



対策工法一覧表

欠損部補修工
防錆処理工
断面修復工
表面保護工

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

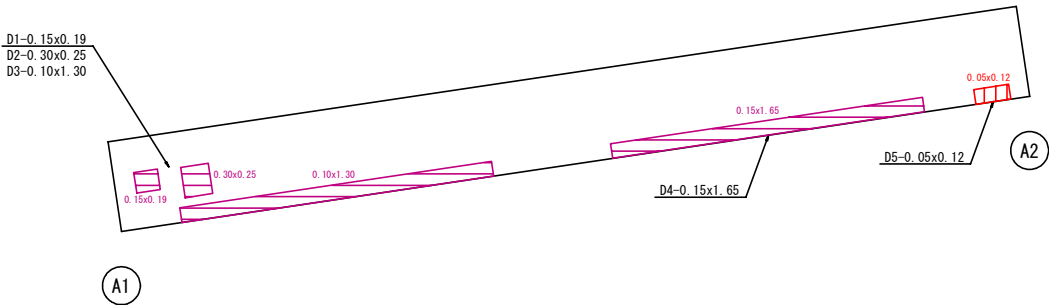
図面番号	2 / 5	縮 尺	図 示
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事		
種 別	補修図(その1)	番 号	1 / 4
路 線 名	市道久佐4号線		
工事箇所	府中市久佐町		
広島県府中市			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

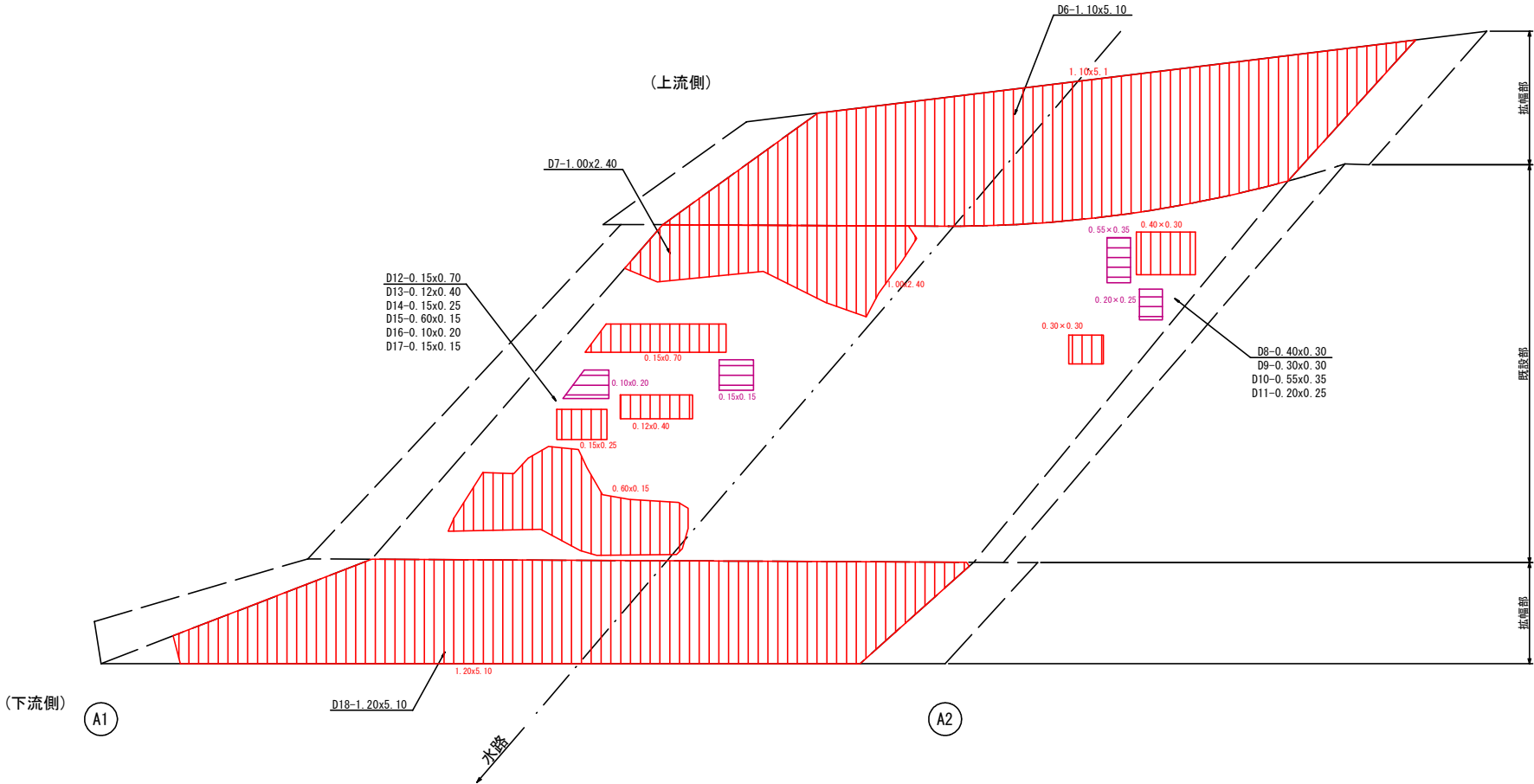
補 修 図 (そ の 1) S=1:25

断面修復工

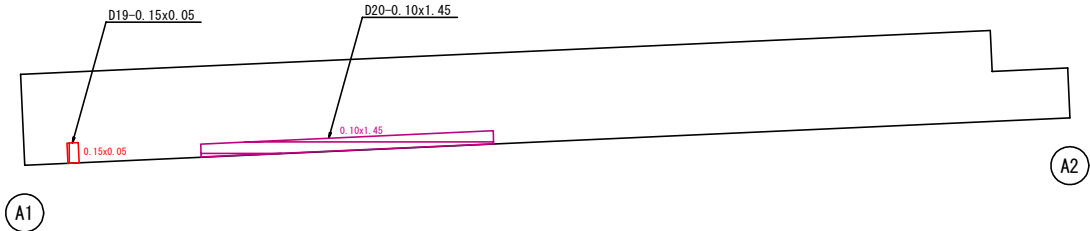
上流側側面



桁下面



下流側側面



凡 例

補修工法		
D		断面修復工 (左官工法)
		
<u>D0-0.00x0.00</u>		<u>補修工法 補修番号-補修幅x補修幅</u>

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

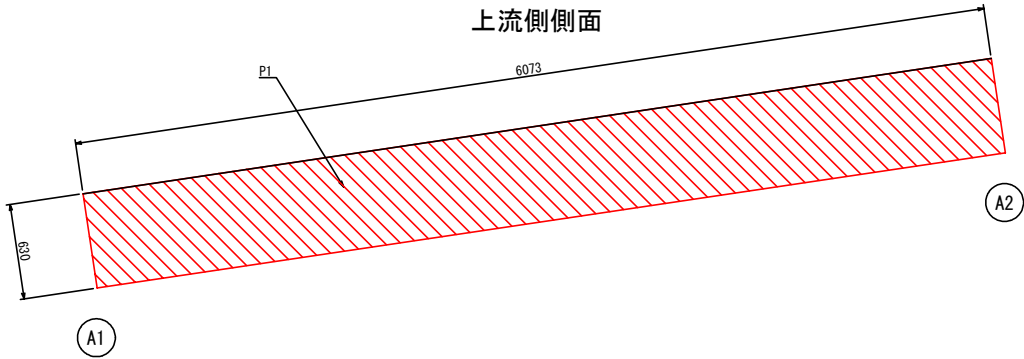
図面番号	3 / 5	縮 尺	図 示
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事		
種 別	補修図(その2)	番 号	2 / 4
路 線 名	市道久佐4号線		
工事箇所	府中市久佐町		
広島県府中市			

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

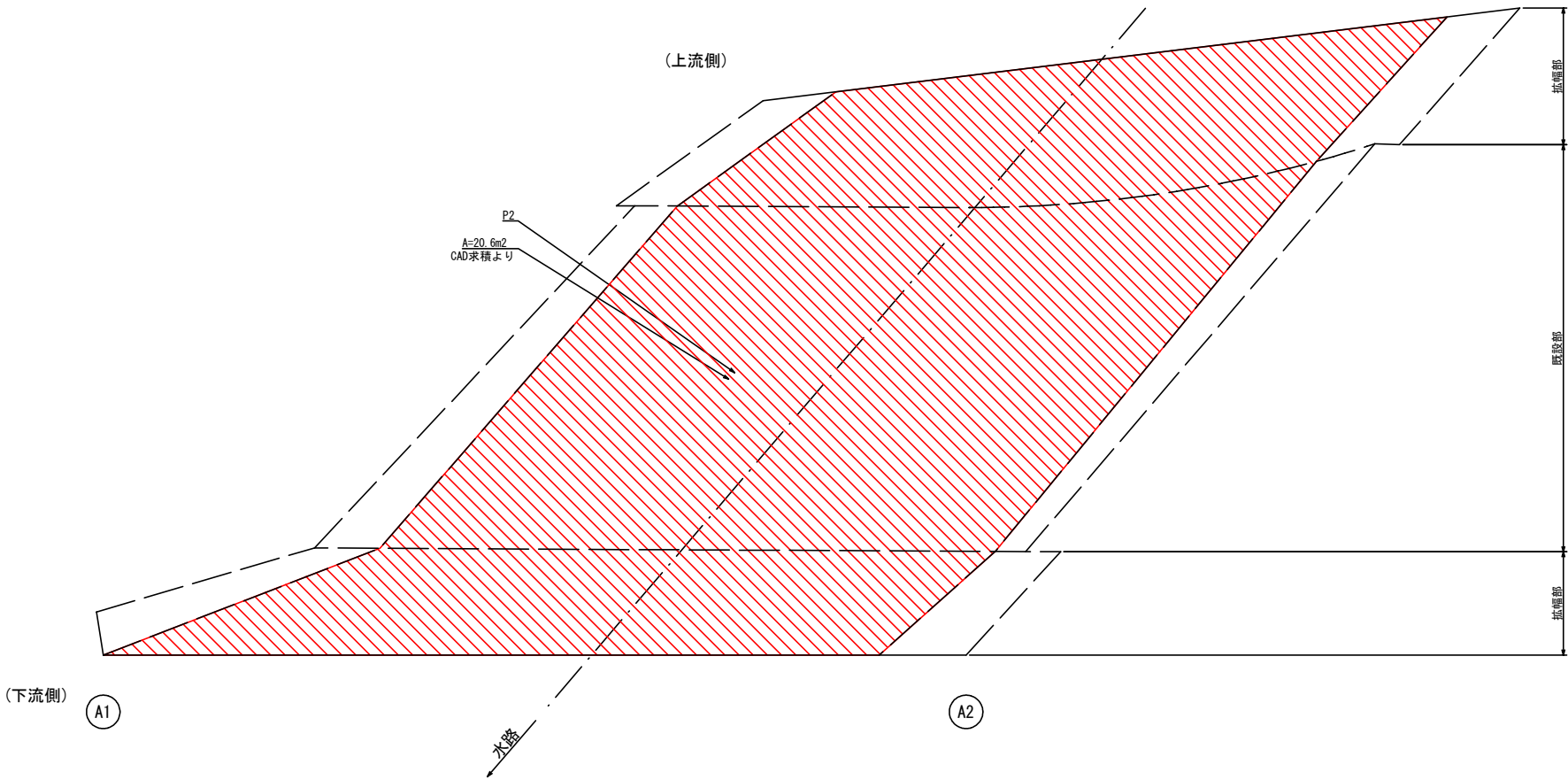
補 修 図 (そ の 2) S=1:25

表面保護工

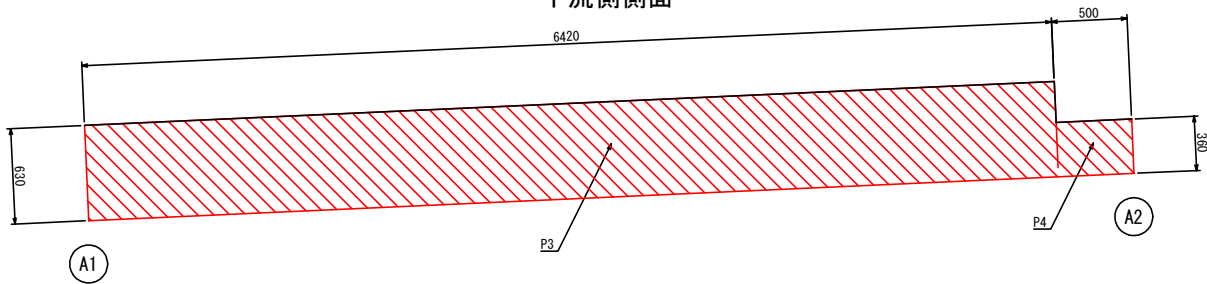
上流側側面



桁下面



下流側側面



凡 例

P		表面保護工
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
- ※ 表面保護材はシラン系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.20kg/㎡以上とすること。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

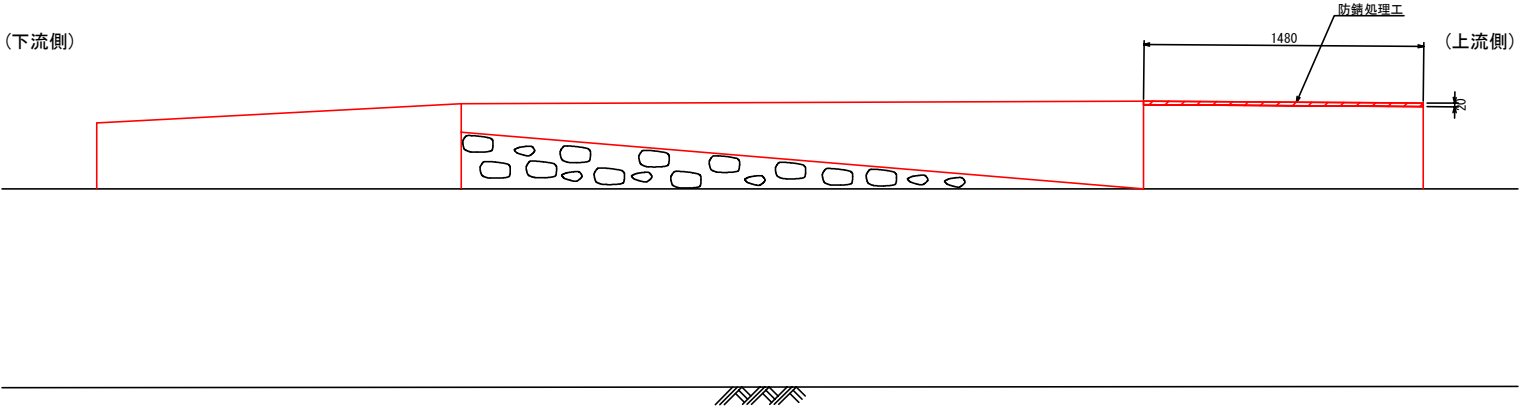
図面番号	4 ／ 5	縮 尺	図 示	
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事			
種 別	補修図(その3)	番 号	3 ／ 4	
路 線 名	市道久佐4号線			
工事箇所	府中市久佐町			
広島県府中市				

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

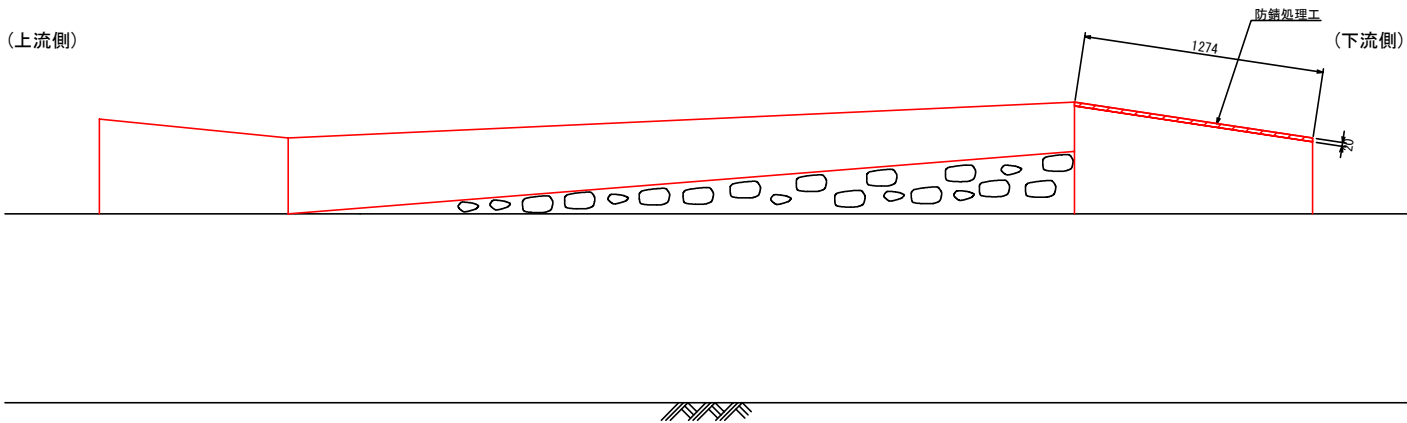
補 修 図 (そ の 3) S=1:20

防錆処理工

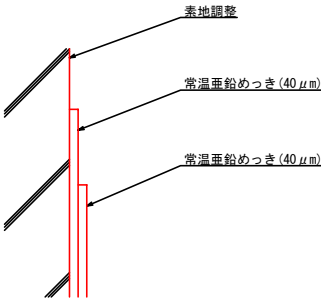
A1橋台
正面図



A2橋台
正面図



防錆処理工
(参考図)



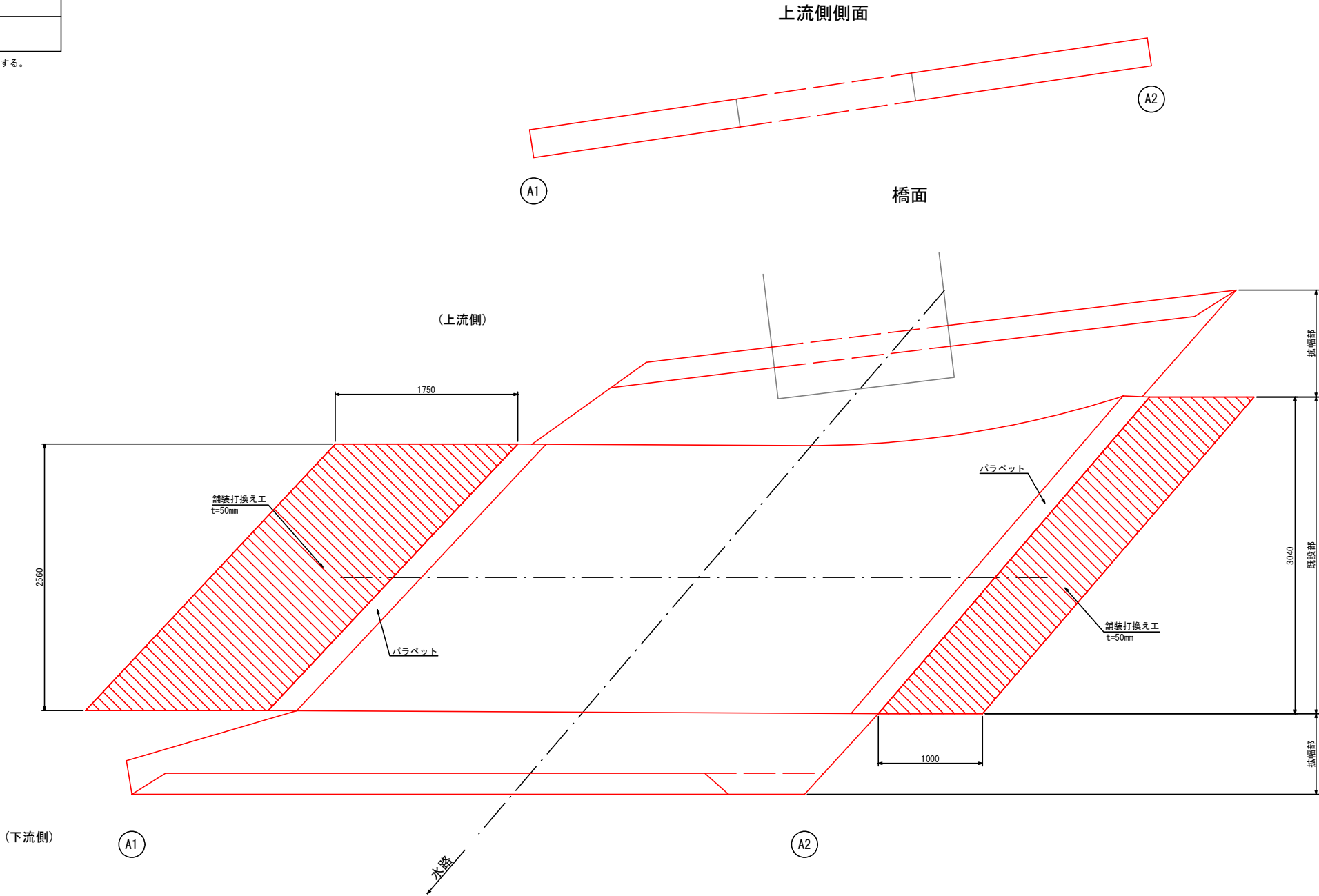
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	5 / 5	縮 尺	図 示	
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事			
種 別	補修図(その4)	番 号	4 / 4	
路 線 名	市道久佐4号線			
工事箇所	府中市久佐町			
広島県府中市				

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

補 修 図 (そ の 4) S=1:25

舗装打換え工



舗装打換え工数量表

(1橋当り)				
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
表層	再生密粒度As20mm t=50mm	m ²	~~	
		m ³	0.218	

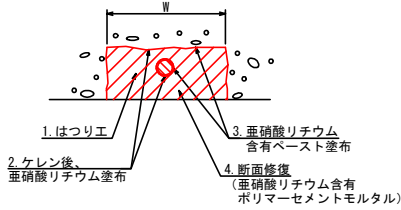
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巢、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※  は、勾配2%で擦り付けた場合の擦り付け想定範囲を示す。
- ※ 路面の段差を解消することが目的である。現地状況により施工範囲を決定すること。

図面番号	1 1	縮 尺	図 示
工 事 名	久佐7号橋橋梁補修工事		
種 別	補修詳細図(参考図)	番 号	1 1
路 線 名	市道久佐4号線		
工事箇所	府中市久佐町		
広島県府中市			

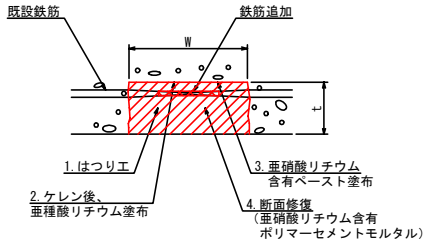
注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

補 修 詳 細 図 (参 考 図)

断面修復工(左官工法) (参考図)

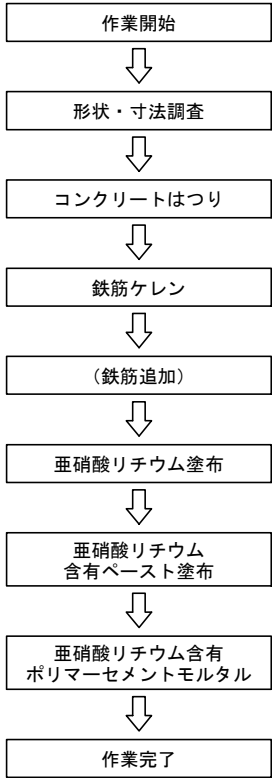


断面修復工(鉄筋追加)(左官工法) (参考図)

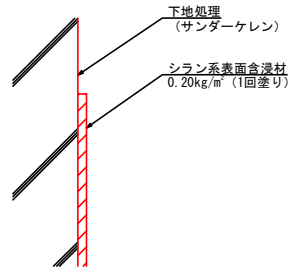


- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所（25%以下）は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とする。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

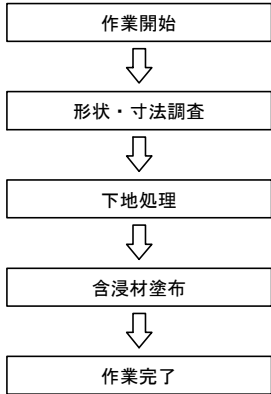


表面保護工 (参考図)

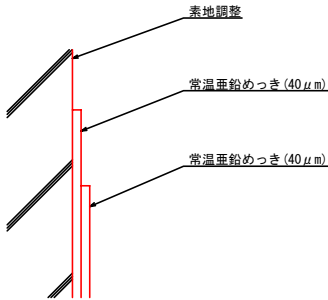


- ※ 表面含浸材はシラン系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.20kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

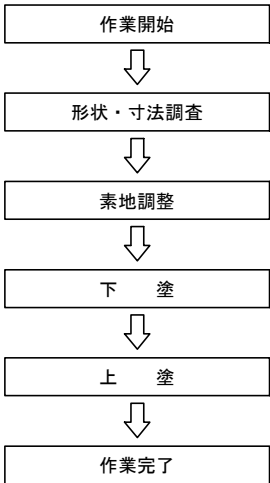


防錆処理工 (参考図)

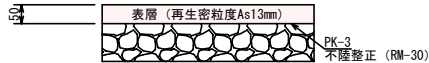


- ※ 素地調整の種別は2種ケレンを想定。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 合計膜厚は80μm以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使時間内に塗布を行い、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順



舗装打換え工 (参考図)



- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。